

神が共におられた人々②：イサク

原田元道

イサクの生涯(略歴)

- ・ アブラハム(100 歳)とサラ(90 歳)の息子として誕生する(創世記 21:1-7)
- ・ アブラハムによって神へのいけにえとして献げられそうになる(創世記 22:1-18)
- ・ 40 歳の時、リベカと結婚する(創世記 24 章; 25:20)
- ・ 飢饉に直面した時、(初めて)個人的に神と出会う(創世記 26 章)
- ・ 60 歳の時、不妊だったリベカが双子(エサウとヤコブ)を出産する(創世記 25:24-26)
- ・ 老いて目が見なくなった時、エサウと間違えてヤコブを祝福する(創世記 27:1-40)
- ・ 180 歳で生涯を終える(創世記 35:28)

神との出会い

・ 試される信仰←神の恵み

「アブラハムの時にあった初めのききんのほか、またききんがその国にあったので、イサクはゲラルにいるペリシテびとの王アビメレクの所へ行った。その時、主は彼に現れて言われた、『エジプトへ下ってはならない。わたしがあなたに示す地にとどまりなさい。あなたがこの地にとどまるなら、わたしはあなたと共にいて、あなたを祝福し、…』」(創世記 26:1-3)

←神に直接語り掛けられるイサク

「これらの国をことごとくあなたと、あなたの子孫とに与え、わたしがあなたの父アブラハムに誓った誓いを果そう。またわたしはあなたの子孫を増して天の星のようにし、あなたの子孫にこれらの地をみな与えよう。そして地のすべての国民はあなたの子孫によって祝福を与えるであろう。アブラハムがわたしの言葉にしたがってわたしのさとしと、いましめと、さだめと、おきてとを守ったからである。」(創世記 26:3-5)

←父アブラハムの故に祝福を受けるイサク

→人間との個人的な関係を望む恵み深い神

・ 揺れ動く信仰←神の試練

「こうしてイサクはゲラルに住んだ。その所の人々が彼の妻のことを尋ねたとき、『彼女はわたしの妹です』と彼は言った。リベカは美しかったので、その所の人々がリベカのゆえに自分を殺すかもしれないと思って、『わたしの妻です』と言うのを恐れたからである。」(創世記 26:6-7)

「その夜、主は彼に現れて言われた、『わたしはあなたの父アブラハムの神である。あなたは恐れてはならない。わたしはあなたと共にあって、あなたを祝福し、わたしのしもべアブラハムのゆえにあなたの子孫を増すであろう。』」(創世記 26:24)

←神を恐れ、人も恐れるイサク

→弱く不完全な人間を用いる恵み深い神

・ 新たにされる信仰←神の誠実さ

「イサクはその地に種をまいて、その年に百倍の収穫を得た。このように主が彼を祝福されたので、彼は富み、またますます栄えて非常に裕福になり、」(創世記 26:12-13)

←イサクとの約束を果たす神

「羊の群れ、牛の群れ及び多くのしもべを持つようになったので、ペリシテびとは彼をねたんだ。またペリシテびとは彼の父アブラハムの時に、父のしもべたちが掘ったすべての井戸をふさぎ、土で埋めた。アビメレクはイサクに言った、『あなたはわれわれよりも、はるかに強くなられたから、われわれの所を去ってください。』イサクはそこを去り、ゲラルの谷に天

幕を張ってその所に住んだ。」 (創世記 26:14-17)

←神が共にいてもなお苦難・困難を経験するイサク

「その夜、主は彼に現れて言われた、『わたしはあなたの父アブラハムの神である。あなたは恐れてはならない。わたしはあなたと共にあって、あなたを祝福し、わたしのしもべアブラハムのゆえにあなたの子孫を増すであろう。』それで彼はその所に祭壇を築いて、主の名を呼び、そこに天幕を張った。またイサクのしもべたちはそこに一つの井戸を掘った。」 (創世記 26:24-25)

←どんな時も共におられる神を礼拝するイサク

→約束・計画を必ず果たす恵み深い神

「キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。」 (ピリピ 2:6-8)

子なる神イエスが父なる神に従ったから
神が共にいるという祝福を受けることができる